

## 【報告 2-1：熊本県甲佐町】

平成30年度 第3回  
認知症介護研究・研修東京センター：  
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー  
2019年1月18日  
有楽町朝日ホール

行政・専門職・住民のチカラを活かして、  
世代を超えた支え合いの町をつくる

# 甲佐町における 認知症の方にやさしい 町づくりに向けた取り組み

|       |            |
|-------|------------|
| 甲佐町役場 | 地域包括支援センター |
|       | 認知症地域支援推進員 |
| 事務長   | 古閑 裕子      |
| 保健師   | 福田 久美子     |

※報告2-2 「甲佐町の多機能なカフェの活動紹介」も併せてご覧ください。

# 甲佐町の紹介

甲佐町は、熊本県のほぼ中央に位置し、南北に清流の一級河川である「緑川」が流れる自然豊かな町です。【面積】 57.93km

前震)平成28年4月14日(木)午後9時26分 M6.5最大震度7(甲佐町5弱)  
平成28年4月15日(金)午前0時03分 M6.4最大震度6強(甲佐町5弱)  
本震)平成28年4月16日(土)午前1時25分 M7.3最大震度7(甲佐町5強)



清らかな一級河川「緑川」



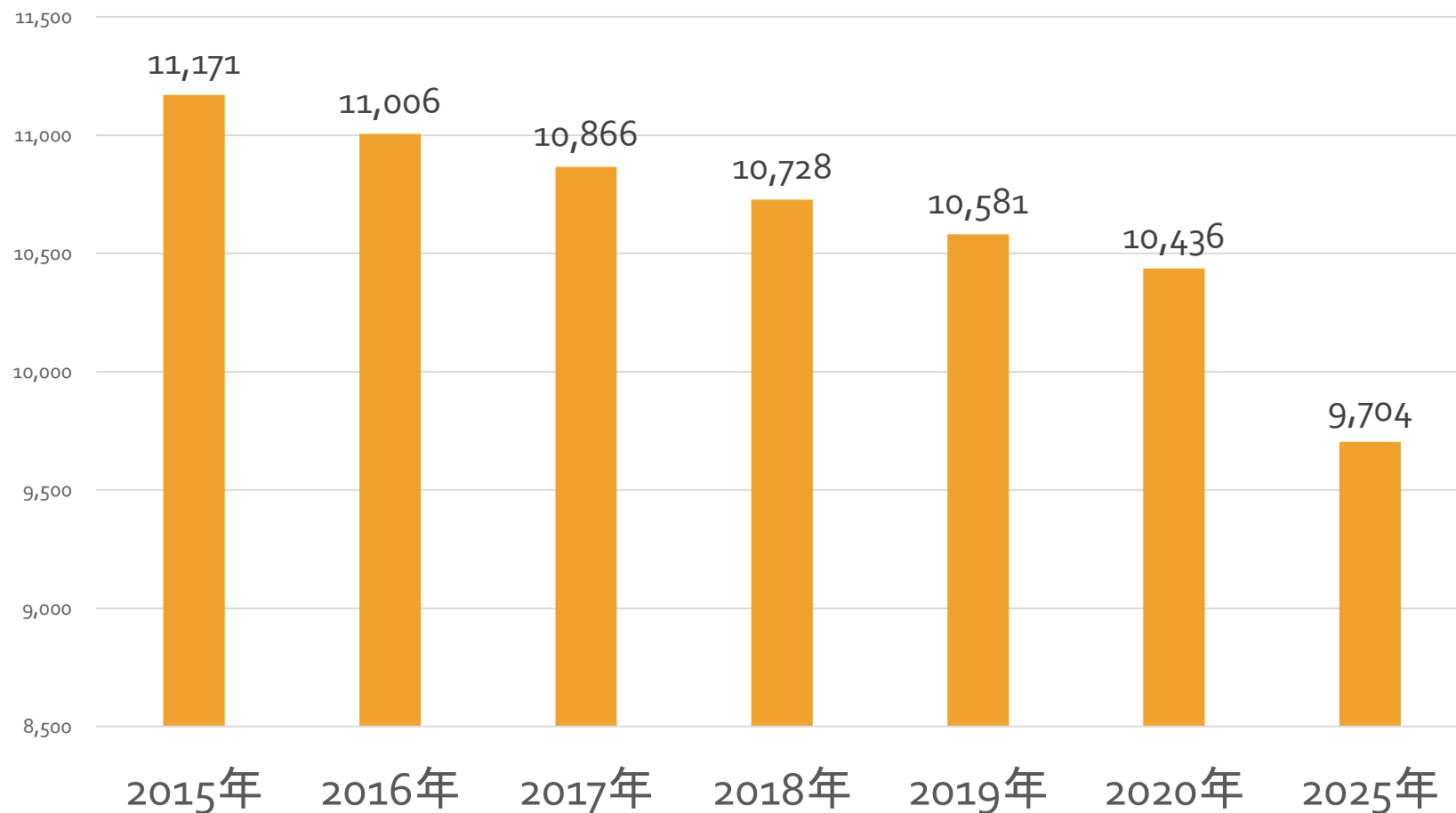
川の上に建つ「鮎のやな場」  
営業日は6月1日から11月30日まで



国指定天然記念物  
「きんもくせい」  
開花時期には、保存会によるお茶  
や郷土料理がふるまわれます！



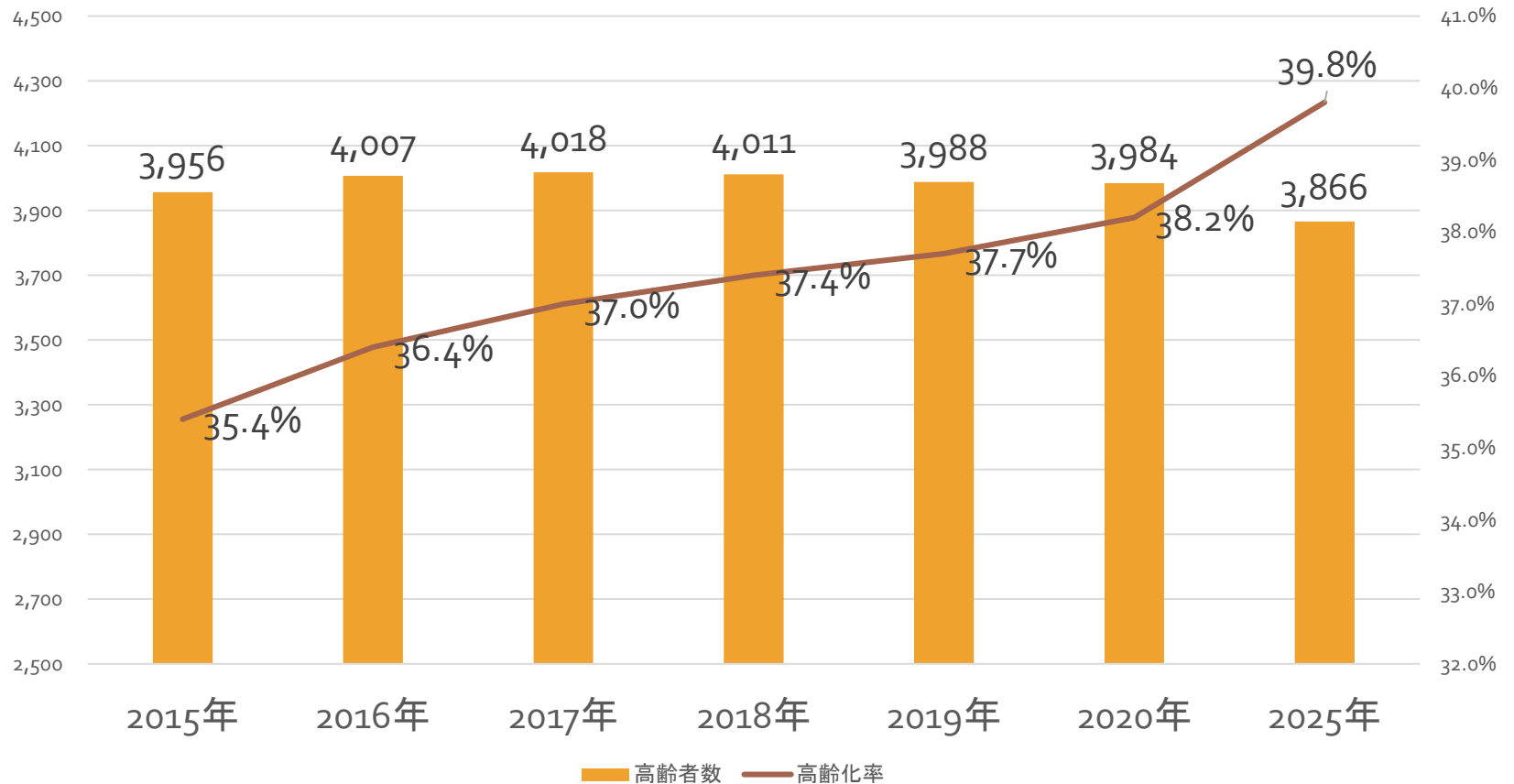
# 甲佐町の総人口推移と将来推計



注) 2017年は9月実数値、2018年から推計値

引用：甲佐町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

# 甲佐町の高齢者数の推移と将来推計



注) 2017年は9月実数値、2018年から推計値

引用：甲佐町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画

# 甲佐町における認知症に関する取り組み

～認知症になっても地域で暮らすことのできる体制づくり～

|           | 事業                                                                            | 事業概要                                                                                                                                                                                    |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域住民      | ①広報掲載<br>②オレンジ通信<br>③オレンジカフェ<br>④認知症サポーター養成講座<br><br>⑤介護予防サポーター養成講座           | ①認知症に関する情報提供<br>②年１０回全戸配布（熊本県認知症介護指導者による執筆）<br>③町内２か所開設<br>④（２９年実績）<br>小学校放課後学童【１回】<br>中学校    【１回】<br>高    校    【１回】<br>医療機関【２回】<br>⑤１０回を通して介護予防について学び、地域で実践することのできる住民を育成。認知症に関する講座がある。 |
| 当事者<br>家族 | ①オレンジカフェ<br>②認知症相談会<br><br>③認知症家族の集い<br><br>④初期集中支援チーム<br><br>⑤介護保険及び総合事業サービス | ①町内２か所開設<br>②認知症に関する各種相談受付<br>認知症疾患医療センターから職員派遣<br>毎月第３週水曜の１回開催<br>③保健センター内で認知症の家族が集う場の開催<br>年間６回隔月開催<br>④認知症の早期介入を図ることを目的として設置                                                         |

# 甲佐町における認知症に関する取り組み

～認知症になっても地域で暮らすことのできる体制づくり～

|           | 事業                                                                                   | 事業概要                                                                                                                                                                                    |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域住民      | ①広報掲載<br>②オレンジ通信<br><u>③オレンジカフェ</u><br><u>④認知症サポーター養成講座</u><br><br>⑤介護予防サポーター養成講座    | ①認知症に関する情報提供<br>②年１０回全戸配布（熊本県認知症介護指導者による執筆）<br>③町内２か所開設<br>④（２９年実績）<br>小学校放課後学童【１回】<br>中学校    【１回】<br>高    校    【１回】<br>医療機関【２回】<br>⑤１０回を通して介護予防について学び、地域で実践することのできる住民を育成。認知症に関する講座がある。 |
| 当事者<br>家族 | <u>①オレンジカフェ</u><br>②認知症相談会<br><br>③認知症家族の集い<br><br>④初期集中支援チーム<br><br>⑤介護保険及び総合事業サービス | ①町内２か所開設<br>②認知症に関する各種相談受付<br>認知症疾患医療センターから職員派遣<br>毎月第３週水曜の１回開催<br>③保健センター内で認知症の家族が集う場の開催<br>年間６回隔月開催<br>④認知症の早期介入を図ることを目的として設置                                                         |

# 甲佐 オレンジ カフェ 連絡会の 立ち上げ



# 甲佐オレンジカフェ連絡会の立ち上げに至る経緯

認知症家族の会や認知症カフェに取り組んでいる事業所の方との連携が不十分だった・・・

認知症家族の集いの参加者である、若年性認知症の夫を介護するKさんから・・・

他町で開催している認知症カフェの取り組みについての新聞記事を読んで、甲佐町にもこういうのがあったらいいな・・・。

私の家でできないかしら・・・。



認知症地域支援推進員として、Kさんの思いに寄り添いたい！  
でも、予算はどうしようか・・・

地域の認知症介護指導者に相談・・・

助成金の申請をしましょう。



# 認知症カフェ連絡会の取り組み

1 年目（平成 2 9 年 9 月から）

○平成 2 9 年 7 月、8 月  
関係者の打ち合わせ会議

・立ち上げに関わる K さんの思いを伺う。

ご主人と自分のためになると思い、  
自宅を開放して地域のために使いたい。

認知症と分かった時のこと、  
明るく乗り越えてきたこと、  
最期まで自宅で  
見たいと思っていること、  
時々くじけそうになること、  
ご主人のケアで悩んでいること

町で作成した  
チラシを住民に  
回覧し周知を図る

## 「甲佐オレンジカフェ連絡会」と名付ける

○平成 2 9 年 9 月  
K さんの自宅を開放し、月 1 回のオレンジカフェを開催

○平成 3 0 年 2 月  
甲佐町とものつくる認知症カフェ研修会の開催



講師：認知症介護研究・研修仙台センター  
特別養護老人ホーム天寿園  
グループホームせせらぎ

矢吹 知之先生  
松本 信広先生  
高橋 恵子先生

認知症介護指導者の  
つながりを  
活かして依頼

# 認知症カフェ連絡会の取り組み

2年目（平成30年4月から）

○平成30年4月

関係者の打ち合わせ会議

メンバー：Kさんご夫婦、甲佐オレンジカフェ連絡会スタッフ、地域包括支援センター職員

その後・・・

・Kさんのご主人の体調不良もあり、今後の認知症カフェは、周知することも目的に、Kさんのご自宅以外に出張カフェとして、地域の公民館の活用を図った。



○平成30年10月

甲佐町とものつくる認知症にやさしい町づくり研修会の開催

第2回

|                     |    |      |
|---------------------|----|------|
| 講師：認知症介護研究・研修東京センター | 中村 | 考一先生 |
| 特別養護老人ホーム天寿園        | 清田 | 隆広先生 |
| グループホームせせらぎ         | 高橋 | 恵子先生 |

～ともに支えあう地域に向けた展開～

甲佐町  
認知症サポ  
ーター養成講座



# 認知症サポーター養成講座の取り組み

若年期からの認知症について学ぶことの重要性を認識

平成27年度から甲佐高校、平成29年度から甲佐中学校及び小学校の学童で実施しており、3年間で249名の児童生徒のサポーターが育成された。

講座内容： ①認知症に関する講話  
②グループワーク「講座で学んだこと」「自分たちができること」

学びを深める講座へ発展させる必要性



生徒自らが認知症について主体的に学び、学んだことをもとに、  
保護者や地域の方へ伝える講座を！！

熊本県認知症介護指導者

熊本県認知症疾患医療センター（精神保健福祉士）

認知症看護認定看護師

熊本県認知症コールセンター（専門相談員）

甲佐町の認知症に関する専門的知識を有する町内関係者に声かけして実現

# 認知症サポーター養成講座 (第1回)

平成30年10月

## 講師から高等学校の生徒への 認知症サポーター養成講座

- 認知症の疾患に関すること
- 認知症の方、認知症の家族の方への対応について
- 認知症の相談窓口について
- 第2回目の打ち合わせ（グループワーク）  
→ 第3回目の講座開講に向けて  
各グループが担当する内容を確認する。
- 今回学んだこと、自分たちから地域へ伝えたいこと、  
自分たちから家族へ伝えたいこと（個人ワーク）



## 第3回の認知症サポーター養成講座開講 のためのグループワーク

# 認知症サポーター養成講座 (第2回)

平成30年11月

### 【5グループでそれぞれが担当する

### 5項目の具体的な内容検討と資料作成】

- ・ 認知症の疾患に関すること
- ・ 認知症の方、認知症の家族の方への対応について
- ・ 認知症の相談窓口について
- ・ 認知症の方の対応方法についての劇
- ・ 今回学んだこと、自分たちから地域へ伝えたいこと、自分たちから家族へ伝えたいことのメッセージ



高等学校の生徒による  
認知症サポーター養成講座開講

認知症サポーター養成講座  
(第3回)

平成30年11月

【5グループごとに担当する項目を

講師役となり実施】

- 認知症の疾患に関すること
- 認知症の方、認知症の家族の方への対応について
- 認知症の相談窓口について
- 認知症の方への対応方法（生徒による劇）
- 今回学んだこと、自分たちから地域へ伝えたいこと、自分たちから家族へ伝えたいメッセージ
- その他、認知症疾患医療センターの方からの話等・・・



メッセージ  
家族に伝えたいこと  
(一部抜粋)

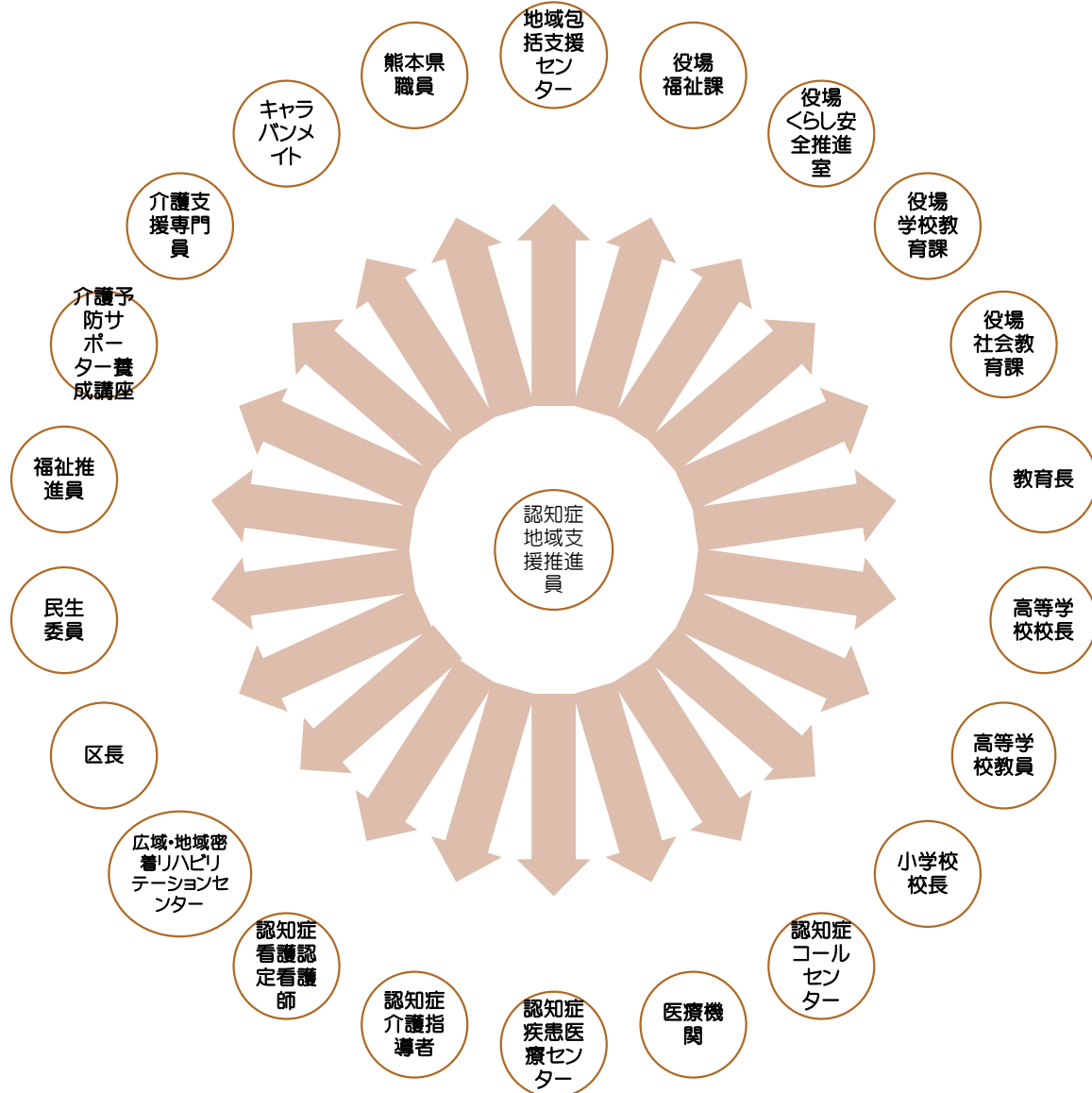
## 高校生より

- 家族の誰かが認知症になったときのため、みんながサポートできるように正しい知識を学ぶことが必要ということを伝えたい。
- 近所には高齢者の方も多いし、若年性認知症のことも学んだので、もし、地域で認知症になった方がいたら、正しく病気の特徴を知って、その方にとって住みやすい地域をつくらなければならないということを伝えたい。

# 今回の事業を通して

一つひとつの事業の  
丁寧な関わり

～つながりと共通  
理解、結束を育む  
ための好機～



☆普段からの顔の見える関係づくり

☆理解者を増やし、理解者とともにすすめる

☆目的・目標の共有化（気持ちの共有も！）

- 多くの関係者と関わる中で、それぞれの関係者が、認知症の方への対応の機会が多いことが分かった。

日常の中にある認知症の方との接点に着目。  
つながりと地域支援力をより高く！

今後は . . .

- それぞれの関係者に対して、認知症に関する対応方法や当事者の声に耳を澄ます（傾聴）学びの機会を定期的につくっていく必要があると感じている。

\* 地域にいる人材育成の担い手（指導者等）の力を借りながら、それらの人たちが活動しやすい環境を行政としてつくっていく。

\* 皆で共に歩いていくことができるように、一緒に無理なく、息長く。

---

# ご清聴 ありがとうございました

平成28年熊本地震の際の多くのご  
支援をありがとうございました。



地域で行政とともに取組みを進めている  
認知症介護のプロフェッショナルに報告を  
バトンタッチ！



## 【報告2-2：熊本県甲佐町】

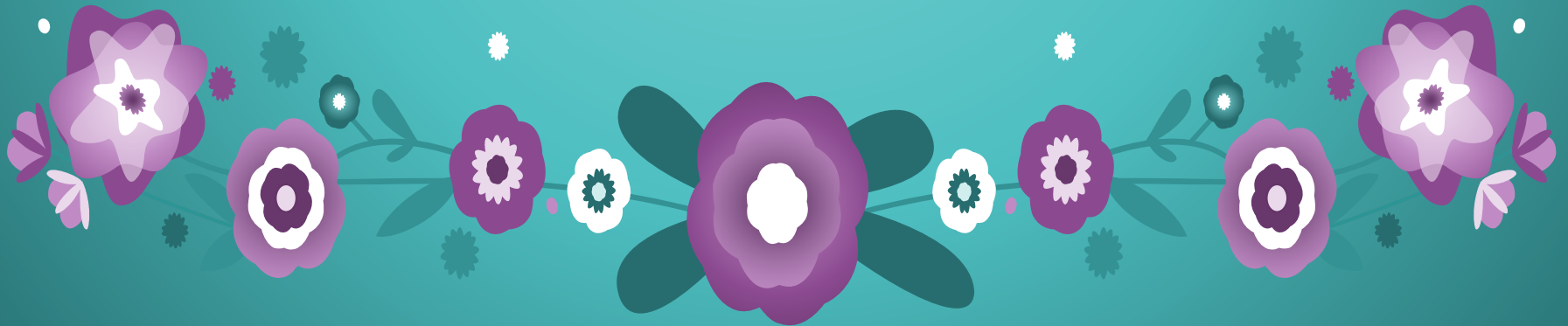
# 甲佐町の多機能なカフェの活動紹介

## 行政・地域住民・専門職のコラボで 認知症の人も楽しむ地域共生拠点づくり

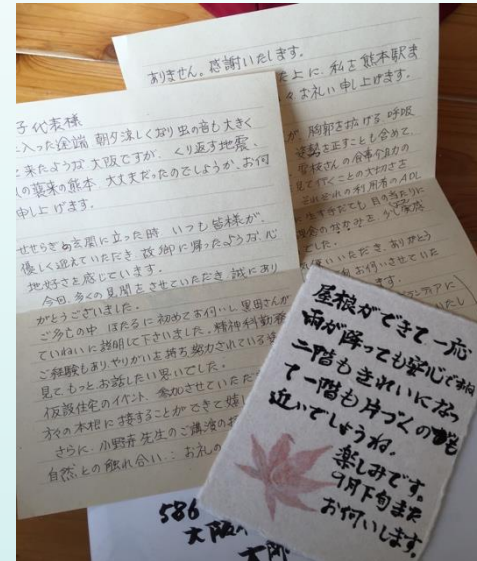
有限会社せせらぎ 高橋 恵子（認知症介護指導者）

甲佐町地域密着型サービス：グループホームせせらぎ 小規模多機能ホームほたる

熊本県地域共生拠点：ふれあいホームせせらぎ・ほたる



熊本地震から頑張ってきました！  
スタッフ同士支え合って、支援してもらった分は、地域にも還元したい。  
でも自分たちも精一杯！お金も厳しい！



災害支援による人間愛が次のサポートを産む！  
物資と力を仲間が運んでくれました。  
避難所や仮設住宅での支援を月に1～2回続けてきました。



ふれあい  
夕涼み会

月の夜、虫の声を楽しみませんか？  
白旗観察くまもと特別企画

## 白旗ふれあい仮設団地 鳴く虫観察会

…さて、きみは、いくつわかるかな？

りーんりーん  
びんびりりん  
がちゃがちゃ  
ぎーすちゃん

…大人も子供も一緒に楽しむ秋の夜…

- 日時 平成 28年9月17日(土) 18:30集合
- 場所 白旗グラウンド(白旗仮設団地) 甲佐町早川2100番地
- 集合場所 仮設団地 談話室周辺 観察場所 白旗グラウンド周辺
- 申し込み 談話室の掲示板に書き込むか、お電話で下記に申し込んで下さい。グループホームせせらぎ 096-234-5511(担当:高橋)
- 参加費: 無料(震災支援につき保険代や資料など無料です)

主催団体 自然観察指導員熊本県連络会(自然観察くまもと)  
協力: ふれあいホームほたる・グループホームせせらぎ



地域の課題をどう解決するか？  
行政だけ・事業者だけでは解決できない。  
住民を巻き込まないと…意味がない。

A photograph of a piece of paper with handwritten Japanese text. The text is written in black ink on a white background. The handwriting is somewhat cursive and includes several lines of text. The text is as follows:  
「情報の不足、人材不足、  
情報、研修不足を感じ  
る在宅介護の家族に  
向  
勤務時間帯による人手不足  
業務にたいがい割に実費が上から  
ない業務中、他の業務に手をとられ  
（はい）なかなか自分の業務  
進まない」  
The text is written on a piece of paper that is slightly crumpled and has some other markings on it.

地域密着・地域共生拠点としての力を取り戻そう！  
認知症介護指導者や自然観察指導員の仲間の力を借りて  
熊本県の農福連携・地域共生関連の助成金もフル活用！

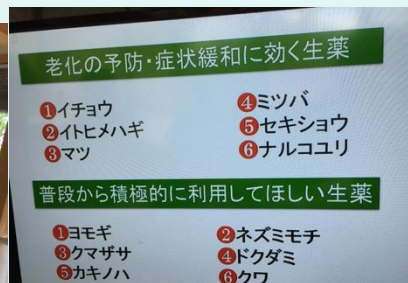


# 甲佐町オレンジカフェ連絡会 定期的に活動を！ 古民家カフェ：木村さんち



甲佐町オレンジカフェ連絡会は、  
朝日新聞厚生文化事業団「とも  
につくる認知症カフェ」助成事  
業を受けています

私たちの活動を地域に還元したい！  
一緒に楽しく、学び支え合える世の中を！  
(認知症介護指導者の血が疼く?)  
もっと、認知症予防も認知症ケアもせっかくの知識を生かしたい！

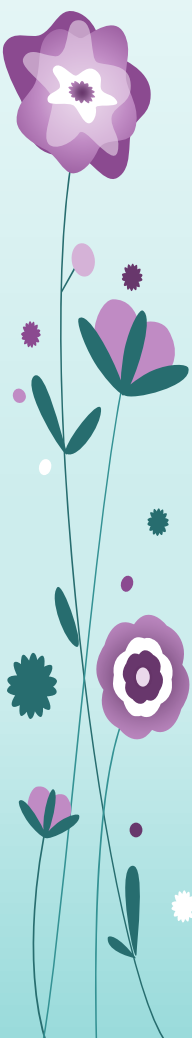


● 緩やかなカフェタイムからの認知症ミニ講座・音楽・笑ったり体操したり



予防は一次予防と二次予防！  
その延長で認知症になったらのお話（予防とケアを分けないのがミソ！）





私たち、オレンジカフェボランティアのミッション

- 認知症のことや認知症の人の気持ちを知ってもらう
  - 認知症初期の人たちを地域で自然に支える活動を
  - 認とも活動や認知症カフェ活動の機会を増やす
  - 楽しく学び、自然に支え合うことのできる甲佐町を
  - 認知症の予防、進行防止を、楽しく、一緒に考える
  - 差別のない社会を
- 

## オレンジカフェ連絡会の活動例 古民家カフェの様子

- (写真は、昨年度の様子)
- 4月当初、古民家カフェで話し合いましたが、古民家カフェのオーナーより、ご家族の体調が良くないので、しばらく難しいとお話があり、たつのふれあいセンターやふれあいホームほたる、芝原公民館など、地域の方々が参加しやすい場所を探して、月に一回の巡回型オレンジカフェを開催することにしました。



# ふれあいホームほたるにて

5月

コーヒータイム・自己紹介ゲーム

認知症予防の話（リコード法）

食べた方がよいもの・控えた方がよいもの

漢字ドリル・呼吸法

合唱：夏の思い出



6月

笑いヨガ呼吸法紹介

味噌ダゴ作りと回想法

認知症の方も含めて和やかな感じ、楽しく、話になって行こう。

終了後、民生委員さんと認知症介護について個別相談



# 芝原公民館にて 巡回型オレンジカフェ

- 9月
- おまんじゅうとなめこ汁、お漬物は差し入れ
- キノコを食べよう
- 怒りのコントロール：アンガーマネジメント
- くまモンヨガ・うーいーあー体操
- 福祉推進委員・区長・老人会長・地域包括センタースタッフなどの参加協力あり。22名の参加で、つぎ分けなども積極的に参加。



# ふれあいホーム活動として、 認知症の方とふれあい自然塾

10月

子供達は午前中、認知症の勉強と簡単なふれあいかたのお勉強！その後、ドングリや秋のタネの観察

午後からは、おばあちゃん達と一緒にクラフト体験  
いつの間にかそこにいることが普通に。

指導員の方の経験も豊富で、クラフト体験は、簡単にできるものも準備してあった。



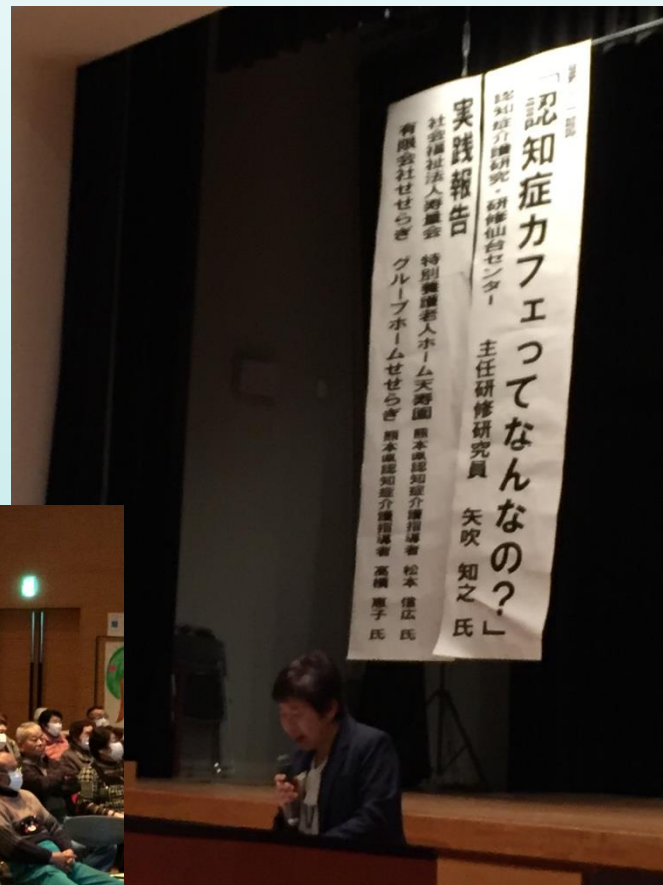
## 住民のみなさんへお願い

- オレンジカフェボランティア活動に参加しませんか？
- お話を聞いて、一緒に勉強して。
- お茶を入れて、認知症の人にさりげなく話しかけて。
- 楽しく、大笑いして。
- お茶とお菓子をいただきながら。
- ちょっと片付け手伝って。
- さりげなく近所の人に声かけて、車のない人と一緒にきませんか？

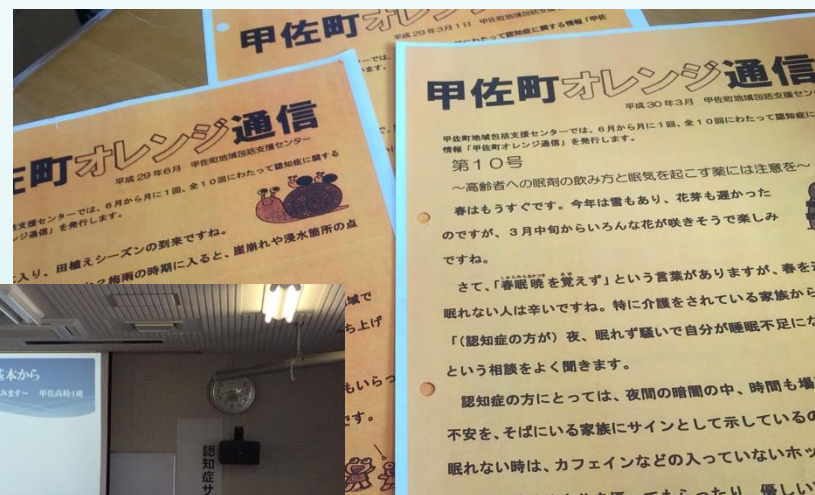


## 住民向け講習会

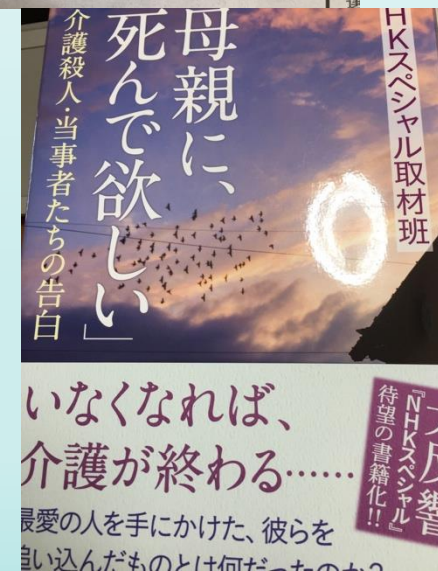
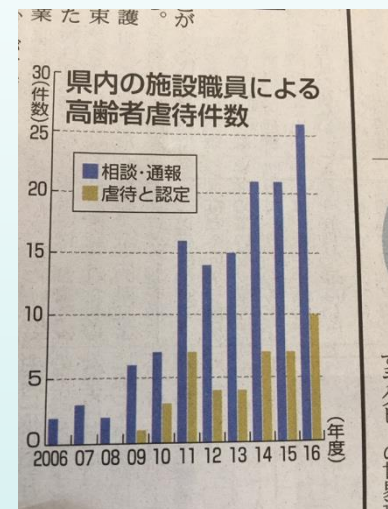
看取り・認知症予防・認知症のサポート・カフェ活動など  
多数合同企画してきた。（町主催・共催・後援など：町と  
コラボすると住民が集まる！



行政と一緒にだから面白い！  
学校でも地域でもやりやすい



農山村に若い人が少ない。  
都会でも田舎でも孤立する介護者たち  
介護は、オープンマインドで、癒しもあり、笑いも  
ありで、自身のポジティブな意識改革が必要！  
ひとりぼっちにさせないことが重要  
専門職・地域住民が力をあわせるために行政  
の一押しは特別！  
介護はよりジェネラリスト育成へシフトを！  
認知症カフェは、最高の交流の場です！



認知症の人を支えるということは、  
・ 地域で支え合う町づくりと同じ

甲佐町のこころの復興を願って、地域の皆さんとの絆を紡ぎます！

認知症の人、地域住民、認知症サポーター、専門職、行政（地域包括支援センター）が、地域の拠点に集まり、認知症の人が暮らしやすい社会を考えていくことが何より大切だと考えています。今年度は特に甲佐オレンジカフェを開催しながら、仲間を増やし、認知症の人をサポートできるオレンジカフェ・ボランティアの育成に力を注いでいこうと思います。

地域の民家を活用した家庭的な雰囲気のカフェやふれあいホーム、各地の公民館を活用した、参加しやすいカフェ活動を行います。地域住民・行政・専門職連携の多機能なカフェ活動で、町独自の活動を見出して行きます。

認知症の人が遊びに行きやすいお出かけマップづくりも楽しく行います。



地域支援マップを活かして、認知症の人が遊びに行くためのお出かけマップに  
＊いつもの町の中に、一人ひとりにとって宝のような場・風景がある、大切な人がいる



甲佐町といえば、鮎ヤナとニラです！  
遊びにおいでー！



# 問い合わせ先・見学・参加希望の方 盛り上げボランティア募集中！

甲佐オレンジカフェに対する問い合わせ・ボランティア希望の方は、

甲佐オレンジカフェ連絡会へ

熊本県上益城郡甲佐町白旗 9 8 6 グループホームせせらぎ内

電話：0 9 6-2 3 4-5 5 1 1

Email: [seseragi@rose.plala.or.jp](mailto:seseragi@rose.plala.or.jp)

甲佐町地域包括支援センター

電話：0 9 6-2 3 5-8 7 1 1

引用：

熊本地震時の実録：大地震から認知症高齢者を守れ！  
ぱーそん書房、2018

